

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 重点 マスター プラン： 3つの挑戦 / 施策番号 3-4

局・課名： 教育委員会事務局・教育センター

事業名	教育相談	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
			16,067	16,455	16,732	
事業概要 【目的】 子どもの教育に関する課題が多様化・複雑化するなかで、不適応を示す子ども、不安を抱く保護者、対応に悩む教職員などが教育相談を通じて、課題解決に向けて一定の自信を回復し現実的な解決にめどが立つ状況にする。 【内容】 子どもや保護者及び学校関係者を対象に、教育相談(カウンセリングや遊戯療法などの面接相談と24時間電話相談)を実施する。面接相談は教育文化センター(ソフィア教育相談)と人権ふれあいセンター(ふれあい教育相談)の2か所で実施する。また、教職員研修を通して教員の教育相談や子ども理解についてのスキルアップをはかり学校園で解決できるよう学校を支援していく。 【今年度要求のポイント】 ①いじめ・不登校問題の解決をめざした教育相談に関する研修を充実させる。 ②24時間電話教育相談の安定的かつ継続性を鑑み、夜間・日祝日問わずいつでも対応できるよう相談体制を充実させる。 ③拡大ケース会議等を通して、相談員の専門性向上により、発達障害等に関する教育相談を充実し、子どもやその保護者、教職員を支援する。	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
		R2年10月 ~ R5年9月	35,000			
	主な要求内容 (単位:千円)					
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等		
	①いじめの未然防止に向けての業務	14,399	14,651	24時間電話教育相談、いじめ防止研修講師謝礼金等		
	②発達障害に関する研修	372	292	研修会講師謝礼金等		
	③医師報酬	560	560	医師報酬(20回)		
	④その他	1,124	1,229	消耗品、旅費、グループ活動支援員謝礼金等		
	合計	16,455	16,732			
	スケジュール(経過及び今後展開)					
【経過(～元年度)】 ・いじめの未然防止に向けて、いじめ防止研修や子ども理解に関する研修の見直しを行い、教育相談に関する教職員対象研修の充実をはかる。 ・教育相談(面接相談と24時間電話相談)の実施。		【2年度】 ・教育相談の実施する教職員対象研修についての充実を図るため、検討を重ねる。 ・教育相談(面接相談と24時間電話相談)の継続実施。		【今後予定(3年度～)】 ・教育相談グループの実施する教職員対象研修についての充実。 ・教育相談(面接相談と24時間電話相談)の継続実施。		
その他 特記事項						
関連事業:						